

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 10 月 11 日 (2007.10.11)

【公開番号】特開 2006-65675 (P2006-65675A)
 【公開日】平成 18 年 3 月 9 日 (2006.3.9)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-010
 【出願番号】特願 2004-249014 (P2004-249014)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/30 2 1 0 Z

G 0 6 F 17/30 3 1 0 Z

G 0 6 F 17/30 3 5 0 C

G 0 6 F 12/00 5 1 3 D

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 8 月 27 日 (2007.8.27)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

音声認識によって得られたサブワード列を含むアノテーションデータが付属する検索対象のデータを複数格納したデータベースに対して検索処理を行うデータ検索方法であって

- 、
 - (a) 検索キーを入力するステップと、
 - (b) 入力された前記検索キーをサブワード列に変換するステップと、
 - (c) 上記ステップ (b) で変換された前記サブワード列と各アノテーションデータにおける前記サブワード列との相関度に基づいて前記検索対象のデータの検索を行い所定数のデータを検索結果として得るステップと、
 - (d) ユーザの指示に基づき、上記ステップ (c) で得られた前記所定数のデータのうちのいずれかを選択するステップと、
 - (e) 選択されたデータに付属するアノテーションデータに、上記ステップ (b) で変換された前記サブワード列を登録するステップと、
- を有することを特徴とするデータ検索方法。

【請求項 2】

前記アノテーションデータは、前記音声認識の結果、認識スコアに基づき選択される複数のサブワード列を含むことを特徴とする請求項 1 に記載のデータ検索方法。

【請求項 3】

前記アノテーションデータは、前記複数のサブワード列を表現するラティス構造を有することを特徴とする請求項 2 に記載のデータ検索方法。

【請求項 4】

前記アノテーションデータは、前記複数のサブワード列のそれぞれに対して、前記音声認識によって得られたサブワード列か前記登録ステップによって登録されたサブワードかを識別するための識別情報を含むことを特徴とする請求項 2 または 3 に記載のデータ検索方法。

【請求項 5】

前記ステップ (e) は、前記複数のサブワード列のうち、認識スコアが最下位の音素列を前記ステップ (b) で変換された前記サブワード列で置換することによって登録することを特徴とする請求項 2 に記載のデータ検索方法。

【請求項 6】

音声認識によって得られたサブワード列を含むアノテーションデータが付属する検索対象のデータを複数格納したデータベースに対して検索処理を行うデータ検索装置であって、

検索キーを入力する入力手段と、

入力された前記検索キーをサブワード列に変換する変換手段と、

前記変換手段により変換された前記サブワード列と各アノテーションデータにおける前記サブワード列との相関度に基づいて前記検索対象のデータの検索を行い所定数のデータを検索結果として得る検索手段と、

ユーザの指示に基づき、前記検索手段により得られた前記所定数のデータのうちのいずれかを選択する選択手段と、

前記選択手段により選択されたデータに付属するアノテーションデータに、前記変換手段により変換された前記サブワード列を登録する登録手段と、

を有することを特徴とするデータ検索装置。

【請求項 7】

前記アノテーションデータは、前記複数のサブワード列のそれぞれに対して、前記音声認識によって得られたサブワード列か前記登録手段によって登録されたサブワードかを識別するための識別情報を含むことを特徴とする請求項 6 に記載のデータ検索装置。

【請求項 8】

音声認識によって得られたサブワード列を含むアノテーションデータが付属する検索対象のデータを複数格納したデータベースに対する検索処理をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、

(a) 検索キーを入力するステップと、

(b) 入力された前記検索キーをサブワード列に変換するステップと、

(c) 上記ステップ (b) で変換された前記サブワード列と各アノテーションデータにおける前記サブワード列との相関度に基づいて前記検索対象のデータの検索を行い所定数のデータを検索結果として得るステップと、

(d) ユーザの指示に基づき、上記ステップ (c) で得られた前記所定数のデータのうちのいずれかを選択するステップと、

(e) 選択されたデータに付属するアノテーションデータに、上記ステップ (b) で変換された前記サブワード列を登録するステップと、

をそれぞれ実行させるためのコードを含むことを特徴とするプログラム。

【請求項 9】

請求項 8 に記載のプログラムを格納したコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記した問題を解決するために、例えば本発明の一側面に係るデータ検索方法は、以下の構成を備える。すなわち、音声認識によって得られたサブワード列を含むアノテーションデータが付属する検索対象のデータを複数格納したデータベースに対して検索処理を行うデータ検索方法であって、検索キーを入力するステップと、入力された前記検索キーをサブワード列に変換するステップと、変換された前記サブワード列と各アノテーションデータにおける前記サブワード列との相関度に基づいて前記検索対象のデータの検索を行い

所定数のデータを検索結果として得るステップと、ユーザの指示に基づき、前記所定数のデータのうちのいずれかを選択するステップと、選択されたデータに付属するアノテーションデータに、上記変換された前記サブワード列を登録するステップとを備える。